

タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2023 助成の概要と推薦理由

助成番号 23-1-2

プロジェクト名 メタバース空間を活用した病気や障害のある子ども
のコミュニティづくりと子どものQOL サポート
役割マップの制作

団体名 一般社団法人チャーミングケア

代表者名 石嶋 瑞穂

所在地 大阪府

助成額 166万円

助成期間 2023年7月1日～2024年6月30日

設立年 2018年

URL <https://charmingcare.jp/>



小児がん治療や医療的ケアは進んでいるが、病気による子どもの見た目ケア（アピランスケア）に関しては、公的な財源がほとんどなく、また支援の必要性も知られていない。大人が考えている以上に子どもたちは見た目（浮腫み、脱毛、傷跡、医療的機器の装着など）を気にしているが、医療者も親も治療に目が向き、サポートが行き届いていない現状がある。

この団体は、病気や障がいを抱える子どもやその家族が必要としているケアを届けるために、「まなぶ」「はたらく」「かう」「しる」「おうえんする」の5つで構成されたポータルサイトを運営している。また医療的ケアグッズを扱うECマーケットプレイスの運営や研修事業なども取り組んでいる。

今回の助成では、病気の子もたちが、見た目を気にすることなく自由に参加できるメタバース空間を活用しながら、イベントやゲーム、お話会などを通じて交流を深める居場所づくりに取り組む。また医療的ケアグッズを商業施設などで販売する場に子どもたちに主体的に関わってもらいながら、オフラインで交流できる機会を提供する。さらに子どものQOLに関するニーズを調査し、病院や学校、日常生活など、それぞれのシーンに応じた支援者のサポートマップを制作する。

本助成を通じて、メタバース空間が子どもの支援に活用できる新たな手法となるよう、効果を明らかにしながら取り組んで欲しい。また子どものアピランスケアにおける課題やニーズを可視化していくことは先駆性が高いため、持続的な活動となるよう組織体制の強化に努めながら展開していくことを期待したい。